



生きるを、ともに、つくる。  
公益社団法人 日本看護協会

## 看護業務の効率化 先進事例アワード2020 受賞10施設を決定 最優秀賞は 訪問看護ステーションフレンズと広島総合病院 2月17日、表彰式・事例報告会をWEB開催

公益社団法人日本看護協会（会長・福井トシ子、会員76万人）は、このたび「看護業務の効率化 先進事例アワード2020」受賞10施設を決定しました。本アワードは厚生労働省補助事業「看護業務効率化先進事例収集・周知事業」により実施しているもので、看護職が勤務している医療・介護保険施設等において、看護業務の効率化に関する優れた成果を上げ、医療・看護ケアサービスの充実を実現した取り組みを募集し表彰するものです。今回は全国から56件の応募がありました。

本アワードの表彰および事例報告を2021年2月17日（水）にWEB開催します（視聴定員：先着300名）。なお、本事業では、昨年の受賞取り組みと同様の取り組みを行う施設を支援する試行支援（コンサルテーション）事業を実施しています。事例報告会では、本年度参加施設の試行実施状況報告もあわせて行います。

### ◆受賞施設一覧◆

- 最優秀賞** 株式会社トラントユイット 訪問看護ステーションフレンズ（北海道）  
訪問看護におけるエコーによるアセスメント導入とICTを使った医師との連携  
広島県厚生農業協同組合連合会 広島総合病院（広島県）  
チーム医療による新たな手術室運営方法の確立～組織を巻き込んだ3カ年計画の取り組みを通して～
- 優秀賞** 【業務改善部門】株式会社デザインケア みんなのかかりつけ訪問看護ステーション（愛知県）  
ICTツール×ウェブ会議最大活用による業務効率化への取り組み  
【タスクシフト・多職種連携部門】公立羽咋病院（石川県）  
入退院支援の活動からつなぐ看護へ～外来でのスクリーニングを看護計画に直結させる～  
【AI・ICT等の技術の活用部門】社会医療法人柏葉会 柏葉脳神経外科病院（北海道）  
ウィズコロナでICT促進！～患者と家族をつなぐオンライン面会の取り組み～
- 奨励賞** 社会医療法人財団石心会 埼玉石心会病院（埼玉県）  
排尿ケアチームの立ち上げ～患者のQOL向上を目指して～  
医療法人健和会 柳原病院（東京都）  
職種間において協働意識を生み出す取り組み  
医療法人共栄会 名手病院（和歌山県）  
時間外支援夜勤の導入～長年課題だった看護師の夜勤負担軽減への取り組み～
- 特別賞** 医療法人社団おると会 浜脇整形外科病院（広島県） 整形外科分野における術後病衣の工夫  
一般財団法人潤和リハビリテーション振興財団 潤和会記念病院（宮崎県）  
障がい者ベッドメイキングチーム委託業務の導入

## (参考) 募集の概要

※募集は終了しています

### 【名称】

看護業務効率化先進事例収集・周知事業 看護業務の効率化 先進事例アワード 2020

### 【募集期間】

2020年9月1日(火)～10月16日(金)

### 【募集対象】

看護職が勤務している医療機関・介護保険施設等において、直近3年以内に看護業務の効率化において優れた成果・効果を上げている取り組みや、それにより医療・看護サービスの充実を実現した取り組み

### 【募集内容】

医療安全が損なわれていない、かつ先進的・先駆的であることを前提として、以下の内容を募集いたします

- ①業務改善による看護業務効率化の取り組み
- ②タスクシフト・多職種連携による看護業務効率化の取り組み
- ③AI・ICT等の技術を活用した看護業務効率化の取り組み
- ④その他の工夫による看護業務効率化の取り組み

※本事業は厚生労働省の補助金事業として、公益社団法人日本看護協会が実施しているものです